

改訂：2025年4月25日

初版：2025年3月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

## 施工要領書

## ■目次（パターン別施工要領）

---

ヘリテージ仕上げ.....	3
ホリゾンタル仕上げ.....	6
プレーン仕上げ.....	9
グリット仕上げ.....	12
かき落とし仕上げ.....	15
ポーラス仕上げ.....	18
ツートーンブリック仕上げ.....	21
マーブル仕上げ.....	24
リヴェレット仕上げ.....	27
デュアルサーフ仕上げ.....	30
ジュラク仕上げ.....	33
イハダ仕上げ.....	36
キュームラス仕上げ.....	39
ブローダウン仕上げ.....	42
メテオシャワー仕上げ.....	45
セイガイハ仕上げ.....	48
オブリーク仕上げ.....	51
プレシピス仕上げ.....	54

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

ヘリテージ仕上げ

## 施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)
- ・寒水石 5 厘（旭鉦末社製寒水石：白竜5厘を推奨します。）
- ・寒水石 7 厘（旭鉦末社製寒水石：白竜7厘を推奨します。）

## ■施工手順

### ① 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### ② シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### ③ 下塗り

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。

### ④ 上塗り施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kgに対してクリスタルカラーを1本、寒水石 5 厘を約 3kg、寒水石 7 厘約 3 kgを投入してよく攪拌してください。
- ・攪拌後、材料を金鋺を用いて塗り付けてください。

### ⑤ パターン付け

- ・プラスチック鋺またはスチロールコテを用いて寒水石が転がるようにコテを回して仕上げてください。

- ・パターン付けを行う際には力を入れすぎずに表層を軽く押さえることを意識してください。
- ・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整する、寒水石の量を増減するなどして調整してください。

## ■施工上の注意

- ・気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。
- ・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。
- ・外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。
- ・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。
- ・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。
- ・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。
- ・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。
- ・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

## ホリゾンタル仕上げ

### 施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)
- ・寒水石 5 厘（旭鉦末社製寒水石：白竜5厘を推奨します。）

## ■施工手順

### ⑥ 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### ⑦ シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### ⑧ 下塗り

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下塗りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。

### ⑨ 上塗り施工

- ・下塗りが十分に乾燥した後、上塗りの施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kgに対してクリスタルカラーを1本、寒水石 5 厘を約 7kg を投入してよく攪拌してください。
- ・攪拌後、金鋺を用いて材料を塗り付けてください。

### ⑩ パターン付け

- ・クシ目鋺を用いて横方向に引っ張り施工してください。
- ・ジョイント部については千鳥になるようにランダムにパターンを付けてください。
- ・クシ目コテはキレイに保った上で施工してください。材料が付着した状態のままパター

ン付けを行うと、コテに残った材料がついてしまいキレイに仕上がりにくくなります。

・横方向に引く際は左官定木を用いると平滑が取りやすくなり仕上げがキレイになります。

・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整する、寒水石の量を増減するなどして調整してください。

## ■施工上の注意

・気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。

・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。

・外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。

・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。

・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。

・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。

・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。

・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。

・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

## プレーン仕上げ

### 施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)

## ■施工手順

### ⑪ 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### ⑫ シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### ⑬ 下塗り

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。

### ⑭ 上塗り施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・攪拌後、材料を金鋺を用いて塗り付けてください。

### ⑮ パターン付け

- ・プラスチック鋺またはスチロールコテを用いて寒水石が転がるようにコテを回して仕上げてください。
- ・パターン付けを行う際には力を入れすぎずに表層を軽く押さえることを意識してください。
- ・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整するなどして調整してください。

## ■施工上の注意

- ・気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。
- ・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。
- ・外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。
- ・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。
- ・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。
- ・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。
- ・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。
- ・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

グリット仕上げ

施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)

## ■施工手順

### ⑯ 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### ⑰ シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### ⑱ 下塗り

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。

### ⑲ 上塗り施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・攪拌後、材料を金ゴテを用いて全面に塗り付けてください。

### ⑳ パターン付け

- ・角ゴテを立てて、エッジの部分を使って材料を掻き取るようにしてエッジの波感が残るように仕上げてください。
- ・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整するなどして調整してください。

## ■施工上の注意

- ・気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。
- ・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。
- ・外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。
- ・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。
- ・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。
- ・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。
- ・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。
- ・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

かき落とし仕上げ

施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)
- ・寒水石 3 厘（旭鉦末社製寒水石：白竜 3 厘を推奨します。）
- ・寒水石 7 厘（旭鉦末社製寒水石：白竜 7 厘を推奨します。）

## ■施工手順

### 21 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### 22 シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### 23 下塗り

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。

### 24 上塗り施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kgに対してクリスタルカラーを1本、寒水石 3 厘を約 10kg、寒水石 7 厘約 5 kgを投入してよく攪拌してください。
- ・材料が固ければ加水調整して攪拌してください。
- ・攪拌後、金鋺を用いて全面に塗り付けてください。

### 25 パターン付け

- ・プラスチック鋺またはスチロールコテを用いて寒水石 7 厘が縦方向に 10cm 程度転がる

ようにコテを動かして仕上げてください。

- ・パターン付けを行う際には力を入れすぎずに表層を軽く押さえることを意識してください。

- ・塗継ぎは目立ちにくいように千鳥にしてパターン付けを行ってください。

- ・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整する、寒水石の量を増減するなどして調整してください。

## ■施工上の注意

- ・気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。

- ・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。

- ・外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。

- ・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。

- ・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。

- ・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。

- ・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。

- ・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。

- ・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

ポーラス仕上げ

施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 g
- ・寒水石 5 厘（旭鉦末社製寒水石：白竜 5 厘を推奨します。）

## ■施工手順

### 26 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### 27 シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### 28 下塗り or 下吹き施工

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りする、もしくはリシンガンを用いて全面に下吹きしてください。

### 29 上吹き施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上吹きの施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kg に対してクリスタルカラーを1本、寒水石 5 厘を約 4kg を投入してよく攪拌してください。
- ・攪拌後、材料をタイルガン等を用いて凹凸の表情が出ることを意識して吹いてください。

### 30 パターン付け

- ・金コテを用いて表層の凸部を押さえるようにヘッドカットし、パターン付けをしてください。特にツノを立てるとパターン付けがしやすいです。

- ・吹付せず、市販のパターンローラーを用いてパターン付けしてもパターンを付けることができます。
- ・押さえを行う際には、力を入れすぎずに表層を軽く押さえることを意識してください。
- ・コテの固さは柔らかいものを推奨しますが、施工の状況に応じて固いものを使用しても問題はありません。
- ・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には寒水石の量を増減するなどして調整してください。

## ■施工上の注意

- ・気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。
- ・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。
- ・外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。
- ・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。
- ・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。
- ・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。
- ・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。
- ・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

外装仕上げ材クリスタル

ツートーンブリック仕上げ

施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)

## ■施工手順

### 31 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押しえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### 32 シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### 33 下塗り（目地色施工）

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対して希望の目地色のクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。

### 34 目地棒貼り

目地棒を貼るための基準線を付けた後、目地棒またはバックアップ材を基準線に沿って張り付けてください。

### 35 上塗り施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kgに対して希望の色味のクリスタルカラー1本を投入してよく攪拌してください。
- ・2色組み合わせとなりますので希望のカラー2色をそれぞれ配合してください。
- ・材料が固ければ加水調整して攪拌してください。
- ・攪拌後、金鏝を用いて全面にそれぞれのカラーのクリスタルをあまり混ざらないように

配り塗りしてください。

### 36 パターン付け

- ・ 剣先鏝を用いて2色配り塗りした材料が若干混ざるようにコテを斜めに動かした後、ダスター刷毛を用いて2色の境目をぼかして仕上げてください。
- ・ 実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整する、寒水石の量を増減するなどして調整してください。

### ■施工上の注意

- ・ 気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。
- ・ 発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。
- ・ 外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。
- ・ 雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。
- ・ クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。
- ・ パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。
- ・ 施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。
- ・ 万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・ 直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

マーブル仕上げ

施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)
- ・寒水石 3厘（旭鉦末社製寒水石：白竜3厘を推奨します。）

## ■施工手順

### 37 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### 38 シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### 39 下塗り

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。

### 40 上塗り施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kgに対してクリスタルカラーを1本、寒水石 3厘を約 10kg を投入してよく攪拌してください。
- ・材料が固ければコテで塗れる程度に加水調整してください。
- ・攪拌後、金鋺を用いて材料を塗り付けてください。

### 41 パターン付け

- ・剣先コテを用いて間隔をあけて剣先で引っ張ってください。剣先での引っ張りは千鳥になるように行ってください。

- ・ 剣先での引っ張りを行った後、ダスター刷毛や、左官コテを用いてヘッドカットするようなイメージでぼかして仕上げてください。
- ・ 実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整する、寒水石の量を増減するなどして調整してください。

## ■施工上の注意

- ・ 気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。
- ・ 発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。
- ・ 外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。
- ・ 雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。
- ・ クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。
- ・ パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。
- ・ 施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。
- ・ 万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・ 直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

## リヴェレット仕上げ

### 施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)

## ■施工手順

### 42 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### 43 シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### 44 下塗り

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。

### 45 上塗り施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kgに対してクリスタルカラー1本を投入してよく攪拌してください。
- ・材料が固ければコテで塗れる程度に加水調整してください。
- ・攪拌後、金鋺を用いて材料を塗り付けてください。

### 46 パターン付け

- ・ダスター刷毛を斜めに傾けて横方向にパターン付けしてください。
- ・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整する、寒水石の量を増減するなどして調整してください。

## ■施工上の注意

- ・気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。
- ・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。
- ・外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。
- ・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。
- ・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。
- ・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。
- ・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。
- ・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

## デュアルサーフ仕上げ

### 施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
  - ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
  - ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
  - ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)
- ①色と②色の2色分ご用意ください。

## ■施工手順

### 47 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### 48 シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### 49 下塗り（①色を使用）

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。
- ・この際、①色を使用して下塗りを行ってください。

### 50 上塗り施工（①色を使用）

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kgに対してクリスタルカラーを1本を投入してください。
- ・材料が固ければ加水調整して攪拌してください。
- ・攪拌後、金鏝を用いて全面に塗り付けてください。

### 51 パターン付け（②色を使用）

- ・①色を全体に配り塗りした後、②色をアクセントとなるように全体にまばらに散らしてください。その後、スポンジやスタイロフォーム等を用いて渦巻状に動かし、パターン付

けを行ってください。

・何度もパターン付けをやり直すと、色が混ざってしまうので事前に十分な練習を行ってから施工することを推奨します。

・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整する、寒水石の量を増減するなどして調整してください。

## ■施工上の注意

・気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。

・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。

・外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。

・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。

・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。

・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。

・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。

・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。

・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

ジュラク仕上げ

施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)

## ■使用道具

- ・左官・塗装道具一式
- ・リシガン（φ4～6mm）
- ・ウールローラー（シーラー塗布用）

## ■施工手順

### 52 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### 53 シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### 54 下塗り or 下吹き施工

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・またはリシガンの口径をφ4～6mmにし、吹き圧は5～7kgf/cm<sup>2</sup>（0.51～0.71MPa）とすることができる限り平滑になるように全面に吹き付けてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。
- ・塗布量の目安は1.0 kg/m<sup>2</sup>です。

### 55 上塗り施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kgに対してクリスタルカラーを1本を投入してよく攪拌してください。
- ・材料が固ければ加水調整して攪拌してください。

・攪拌後、リシガンの口径をφ4~6mmにし、吹き圧は5~7kgf/cm<sup>2</sup> (0.51~0.71MPa)の間で細かく寒水石が散るように施工してください。

・吹き付けた材料が粒状にならないように、吹き圧は高めに保って施工してください。

・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整する、寒水石の量を増減するなどして調整してください。

## ■施工上の注意

・気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。

・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。

・外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。

・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。

・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。

・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。

・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。

・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。

・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

イハダ仕上げ

施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)

## ■使用道具

- ・左官・塗装道具一式
- ・リシガン（φ4～6mm）
- ・ウールローラー（シーラー塗布用）

## ■施工手順

### 56 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### 57 シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### 58 下塗り or 下吹き施工

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・またはリシガンの口径をφ4～6mmにし、吹き圧は5～7kgf/cm<sup>2</sup>（0.51～0.71MPa）とすることができる限り平滑になるように全面に吹き付けてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。
- ・塗布量の目安は1.0 kg/m<sup>2</sup>です。

### 59 上塗り施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kgに対してクリスタルカラーを1本を投入してよく攪拌してください。
- ・材料が固ければ加水調整して攪拌してください。

- ・攪拌後、リシガンの口径をφ4~6mmにし、吹き圧は5~7kgf/cm<sup>2</sup> (0.51~0.71MPa)の間で細かく寒水石が散るように施工してください。
- ・吹き付けた材料が若干粒状になることを意識して、全体に吹付をおこなって仕上げてください。
- ・吹付のパターン付けは粒状の模様感を出すためリシガンの口径は大きめのサイズであるφ6mmから試すことを推奨します。

・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整する、寒水石の量を増減するなどして調整してください。

### ■施工上の注意

- ・気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。
- ・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。
- ・外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。
- ・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。
- ・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。
- ・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。
- ・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。
- ・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

キュームラス仕上げ

## 施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)

## ■施工手順

### 60 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押しえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### 61 シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### 62 下塗り

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。

### 63 上塗り施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・攪拌後、材料を金鋺を用いて塗り付けてください。

### 64 パターン付け

- ・スポンジを用いて力を入れすぎずに八の字を描くようにしてパターン付けしてください。
- ・パターンが上手につかない場合には主材の乾き具合を調整してから施工してください。
- ・パターン付けを行う際には力を入れすぎずに表層を軽く押さえることを意識してください。

・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整するなどして調整してください。

## ■施工上の注意

- ・気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。
- ・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。
- ・外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。
- ・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。
- ・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。
- ・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。
- ・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。
- ・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

## ブローダウン仕上げ

### 施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
  - ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
  - ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
  - ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)
- ①色と②色の2色分ご用意ください。

## ■施工手順

### 65 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### 66 シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### 67 下塗り（①色を使用）

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。
- ・この際、①色を使用して下塗りを行ってください。

### 68 上塗り施工（①色を使用）

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kgに対してクリスタルカラーを1本を投入してください。
- ・材料が固ければ加水調整して攪拌してください。
- ・攪拌後、金鏝を用いて全面に塗り付けてください。

### 69 パターン付け（②色を使用）

- ・①色を全体に配り塗りした後、②色をアクセントとなるように全体にまばらに散らしてください。その後、クリスタルを鏝のエッジ部分を用いて材料を縦に伸ばすようにして、

パターン付けを行ってください。

- ・若干千鳥を意識してパターン付けすると美しく見えます。
- ・何度もパターン付けをやり直すと、色が混ざってしまうので事前に十分な練習を行ってから施工することを推奨します。
- ・またパターンが横に隣合わないように一定の間隔を空けるとより見栄えが良くなります。
- ・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整する、寒水石の量を増減するなどして調整してください。

### ■施工上の注意

- ・気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。
- ・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。
- ・外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。
- ・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。
- ・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。
- ・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。
- ・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。
- ・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

## メテオシャワー仕上げ

### 施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)
- ・寒水石 3 厘（旭鉦末社製寒水石：白竜 3 厘を推奨します。)

## ■施工手順

### 70 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### 71 シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### 72 下塗り

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。

### 73 上塗り施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kgに対してクリスタルカラーを1本、寒水石 3 厘を約 5kg を投入してよく攪拌してください。
- ・材料が固ければ加水調整して攪拌してください。
- ・攪拌後、金鏝を用いて全面に塗り付けてください。

### 74 パターン付け

- ・剣先コテの剣先部分を使用し、引きずるようにしてパターンを付けてください。この際、コテの腹の部分は持ち上げて剣先だけ使用するようにしてください。

- ・パターン付けを行う際には力を入れすぎずに引きずることを意識してください。
- ・パターン付けは若干千鳥を意識してパターン付けすると美しく見えます。
- ・引きずりを行う際は、真っすぐになるように意識してください。
- ・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整する、寒水石の量を増減するなどして調整してください。

## ■施工上の注意

- ・気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。
- ・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。
- ・外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。
- ・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。
- ・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。
- ・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。
- ・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。
- ・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

セイガイハ仕上げ

施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)
- ・寒水石 5 厘（旭鉦末社製寒水石：白竜 5 厘を推奨します。）

## ■施工手順

### 75 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### 76 シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### 77 下塗り

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。

### 78 上塗り施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kgに対してクリスタルカラーを1本、寒水石 5 厘：約 7 kgを投入してよく攪拌してください。
- ・材料が固ければ加水調整して攪拌してください。
- ・攪拌後、金鏝を用いて全面に塗り付けてください。

### 79 パターン付け

- ・剣先コテを用いて扇状になるようにパターン付けを行ってください。

- ・ 剣先を意識して引っ張るとパターン付けがしやすくなります。

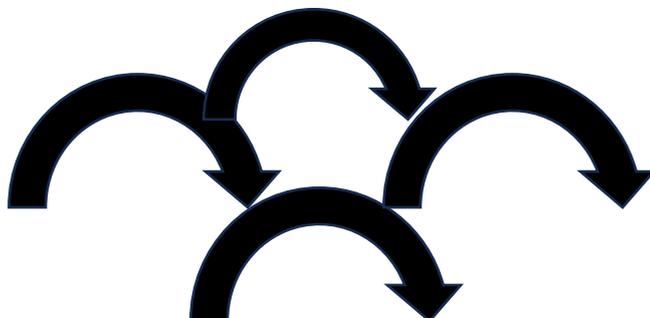


図1：鏝の動かし方

- ・ 実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整する、寒水石の量を増減するなどして調整してください。

### ■施工上の注意

- ・ 気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。
- ・ 発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。
- ・ 外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。
- ・ 雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。
- ・ クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。
- ・ パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。
- ・ 施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。
- ・ 万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・ 直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

## オブリーク仕上げ

### 施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)
- ・寒水石 1 厘（旭鉦末社製寒水石：白竜1厘を推奨します。）
- ・寒水石 5 厘（旭鉦末社製寒水石：白竜5厘を推奨します。）

## ■施工手順

### 80 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### 81 シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### 82 下塗り

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。

### 83 上塗り施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kgに対してクリスタルカラーを1本、寒水石 1 厘を約 5kg、寒水石 5 厘約 10 kgを投入してよく攪拌してください。
- ・材料が固ければ加水調整して攪拌してください。
- ・攪拌後、金鋺を用いて全面に塗り付けてください。

### 84 パターン付け

- ・プラスチック鋺またはスタイロフォーム等の発泡体を用いて寒水石 5 厘が斜め方向に

10cm 程度転がるようにコテを動かして仕上げてください。

- ・パターン付けを行う際には力を入れすぎずに表層を軽く押さえることを意識してください。
- ・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整する、寒水石の量を増減するなどして調整してください。

## ■施工上の注意

- ・気温が 4°C 以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。
- ・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。
- ・外気温が 10°C 以下の場合は最低 48 時間以上の乾燥期間を設けてください。
- ・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。
- ・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。
- ・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。
- ・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。
- ・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上

初版：2025年2月1日

株式会社建泉舎

# 外装仕上げ材クリスタル

## プレシピス仕上げ

### 施工要領書

## ■使用材料

- ・吸水調整用シーラー（下地の吸水が早い場合、フジプライマーF45等の吸水調整用シーラーをご使用ください。フジプライマーF45は村瀬石灰工業株式会社の製品です。）
- ・外装仕上げ材クリスタル 20 kg
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用 20 kg
- ・クリスタルカラー 200 or 300 g (1缶に対して1本入れです。)
- ・寒水石 1 厘（旭鉦末社製寒水石：白竜1厘を推奨します。）
- ・寒水石 5 厘（旭鉦末社製寒水石：白竜5厘を推奨します。）

## ■施工手順

### 85 下地の確認

- ・下地はモルタル金ゴテ押さえとして下さい。不陸が大きい場合は補修材等で平滑にしてください。

### 86 シーラー塗布（下地の吸水が早い場合）

- ・市販の吸水調整用シーラーをローラー等で塗布してください。吸水調整用シーラーの施工要領については各メーカーの施工要領書に従ってください。

### 87 下塗り

- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用に対してクリスタルカラーを1本投入してよく攪拌してください。クリスタルカラーについては全量絞り切りとしてください。
- ・外装仕上げ材クリスタル下塗り用を金ゴテで全面に薄く下擦りしてください。
- ・材料が固く感じる場合には加水して調整してください。

### 88 上塗り施工

- ・下塗が十分に乾燥した後、上塗の施工に進んでください。
- ・クリスタル 20 kgに対してクリスタルカラーを1本、寒水石 1 厘を約 10kg、寒水石 5 厘約 5 kgを投入してよく攪拌してください。
- ・材料が固ければ加水調整して攪拌してください。
- ・攪拌後、金鋺を用いて全面に塗り付けてください。

### 89 パターン付け

- ・プラスチック鋺またはスタイロフォーム等の発泡スチロール体を横方向に動かして部分

的に寒水石が転がるようにパターンを付けてください。転がす間隔は5 cm程度を意識してください。

・転がした後、表面が平滑になるように金鋸を用いてヘッドカットしてください。この際、金鋸は0.3mm程度の柔らかいものを推奨します。

・パターン付けを行う際には力を入れすぎずに表層を軽く押さえることを意識してください。

・パターン付けは若干千鳥を意識してパターン付けすると美しく見えます。

・寒水石が転がらない場合は、何度も転がるようにパターン付けする、または一度落として、材料の柔らかさを調整してから再度、施工する等してください。

・実際の施工を行う前に必ず試験施工をし、パターンの確認を行ってください。もし狙ったパターンが上手く施工できない場合には加水調整する、寒水石の量を増減するなどして調整してください。

## ■施工上の注意

・気温が4℃以下になる場合は施工を避けてください。仕上げ材が硬化せず、クレームの原因となります。

・発色については天然の骨材を使用していますので僅かな色差が発生する恐れがございます。

・外気温が10℃以下の場合は最低48時間以上の乾燥期間を設けてください。

・雨天の場合は施工できません。天候には十分注意し、天候が崩れそうな時には施工を避けてください。

・クリスタルカラーの入れ残りは色違いの原因となりますので必ず全量絞り切りとしてください。

・パターンについては職人によって表情が変わりますので施工の際は必ず施主様立ち合いの元、現場にて確認を行ってください。

・施工の際は体内に入るのを防ぐため防護メガネなどの保護具を着用してください。

・万一、眼に入った場合や、吸入した場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。

・直射日光の当たる場所、湿気の高いところでの保管は避けてください。

以上